

口腔ケアの現状に関する調査のお知らせ

歯磨きはみなさんが毎日行っていることです。しかし、脳疾患を患い意識障害がある方は、自分で歯磨きをすることができません。特に、脳卒中を発症した場合、嚥下・咳反射が低下し、口腔内の細菌が唾液と共に肺に流れ込んでいき、肺炎を起こす恐れがあります。脳卒中の集中治療を担う（SCU）私達は、ご自分で歯磨きができない方に口腔内の清潔を保つために歯磨きを行っています。

この度、小倉記念病院のSCUでは、看護師が患者様に対して歯磨きを行った時の口の中の汚れや乾燥具合を調べさせていただく事となりました。これによって、私たちの歯磨きの手技を振り返り、より良いケアにつなげていきたいと考えています。

【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院においてSCUに緊急入院した患者さんを対象としています。調査対象期間内に入院した患者さんの、意識レベルや機械を使用して口腔内の汚れについて調べ、結果をまとめます。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先へご連絡下さい。

【個人情報の管理について】

個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとり、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の結果の公表（学会や論文等）の際には、個人が特定できる情報は一切含まれません。

【連絡・問い合わせ先】

小倉記念病院
SCU看護師 瀬戸間 法恵
〒802-8555
北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000(代)

